

6. 教育・普及事業

■ イベント・ワークショップ ■

<TARO 鯉に挑む！>

日 程 2015 年 4 月 29 日（水祝） 13 :00~16 :00

内 容 「自分勝手に鯉のぼりを描いた」という岡本太郎。常設展の作品をみた後、子どもも大人も「自分勝手に」鯉づくりに挑みました。下描きもなく思い切り筆をぶついたり描いたものを貼ったり一人一人が自分の表現活動を楽しんでいました。それぞれ形も違い様々な色づかいの鯉が完成し、TARO 鯉と一緒に泳がせました。（今回メキシコの作家たちも鯉のぼりに関心を寄せ作成してくれました。）

場 所 創作アトリエ

料 金 無料（要観覧料）

参加数 27 名



<メキシコの切り絵「パペルピカド」をつくろう>

日 程 2015 年 5 月 2 日（土）～6 日（水祝） 13 :00~15 :00

内 容 《明日の神話》の原画展示、竹田鎮三郎展にちなみ、メキシコの行事、お祭り等で飾られる切り絵「パペルピカド」を制作しました。年齢に関係なく出入り自由で行い、小さい子は家族の手を借りながらはさみで、大人は鉛筆で下絵を描きカッターで切るなどした後、偶然にできた形に驚いていました。1 人 2 枚の紙を切って重ねたり 1 枚を台紙にして貼ったり、展示のしかたにも一人一人の個性が感じられました。

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

参加数 419 名



<ほったろー すったろー ー木版画ー>

日 程 2015 年 5 月 30 日（土） 13 :00~16 :00

内 容 竹田鎮三郎の企画展では、メキシコの人々、文化、風土等を題材にした版画作品を中心に鑑賞しました。参加者のみなさんは彫刻刀で彫るという緊張感とワクワク感が入り混じっているような様子でした。板の両面を彫ったものをいろいろな色で重ねて刷り、彫りと刷りをくり返し、そして自分のお気に入りを見つけていました。

場 所 企画展示室、創作アトリエ

料 金 無料（要観覧料）

参加数 11 名



<光る岡本太郎をつくろう>

日 時 2015 年 8 月 20 日 (木) ~30 日 (日) 平日 13 :00~15 :00 休日 13 : 00~16 : 00

内 容 風船や型を使い、色和紙を貼って光のオブジェを作りました。オブジェには LED を組み込み、夜間には点灯しました。このワークショップの運営は、川崎市立高津高等学校美術部、専修大学の学生の協力のもと、6 月頃から講師の森脇裕之さんや美術館スタッフと打ち合わせを重ね、本番を迎えました。参加者のみなさんは、太郎さんの作品のカードを見ながら、思い思いのオブジェを作っていました。



講 師 森脇裕之(多摩美術大学准教授・ライトアーティスト)
スタッフ 専修大学、川崎市立高津高等学校美術部、多摩美術大学
場 所 創作アトリエ
料 金 300~1000 円 (大きさにより異なる)
参加数 203 名

<サマーナイトミュージアム>

日 時 2015 年①8 月 23 日 (日)、②8 月 29 日 (土)、③9 月 6 日 (日) 17 : 30~20 : 00

内 容 閉館後に大人限定のナイトツアーを開催しました。まずは常設展示室をご案内し、そのあと普段は見ることのできないバックヤードを見学しました。そのあと、カフェでワークショップ「光る岡本太郎をつくろう」のライトアップされた作品を見ながら、ゆっくりと過ごしました。※8 月 23 日のみ、「光る岡本太郎をつくろう」の講師である森脇裕之氏をお招きし、トークショーをしました。



場 所 常設展示室、バックヤード、TARO カフェ
料 金 1500 円 (入館料、ワンドリンク付き)
参加数 ①28 名、②24 名、③24 名

<紙管をぬろう！>

日 時 2015 年 10 月 17 日 (土) 13 : 00~15 : 00

内 容 11 月 1 日に行われたワークショップ「茶室をつくろう！」のプレイベントとして、茶室作りに使う紙管を、太郎を象徴する原色で思い思いに塗ってもらいました。カラフルな紙管がたくさん出来上がり、茶室をいろいろしました。



場 所 創作アトリエ
料 金 無料
参加数 79 名

<茶室をつくろう！>

日 時 2015 年 11 月 1 日（日）10：00～15：00

内 容 建築家グループの 204 建築を講師に招き、紙管を使って、母の塔の下に茶室をつくりました。みんなで協力して紙管から大きな茶室をつくる過程を、年齢を問わず楽しんでくださいました。完成後には、茶室の中でお茶会も行い、自分たちでつくった空間を漫喫していただきました。

講 師 204 建築

場 所 母の塔下、母の塔前広場

料 金 無料

参加数 35 名

展示期間 2015 年 11 月 1 日（日）～11 月 8 日（日）



<茶会—遊喜庵>

日 程 2015 年 11 月 3 日（火祝）13：00～16：00

内 容 文化の日である 11 月 3 日、岡本太郎美術館母の塔前広場にて、「茶会—遊喜庵」を開催しました。茶道裏千家流正教授の岩沢宗知氏を講師に、野点を楽しむイベントです。素晴らしい秋の晴れ間の下、ダンボールで特別に作られたという流麗棚でのお点前を見ながら、岩沢先生のお話を聞き、美味しいお茶とお菓子をいただきました。川崎市立高津高等学校の箏曲部の生徒さんも、現代曲から日本の伝統的な曲まで、さまざまな曲を演奏してくれました。

場 所 母の塔前広場

講 師 岩沢宗知（茶道裏千家流 正教授）

出 演 川崎市立高津高等学校箏曲部

料 金 300 円

参加数 190 名



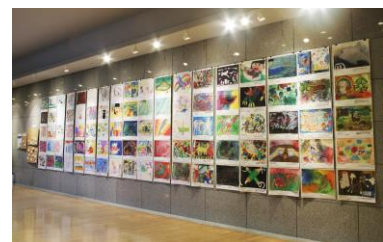
<第 5 回キッズ TARO 展>

日 程 2015 年 11 月 14 日（土）～2016 年 1 月 11 日（月祝）

内 容 自由な発想で、独創的な作品を作り続けた岡本太郎。その精神を受け継ぎ、子どもの無邪気で自由な表現の場として、第 5 回目となる子どもアンデパンダン展・キッズ TARO 展を開催しました。今年のテーマ「なんだ、これは！」のもと、幅広い作品が集まりました。今年度は来館者の感想コーナーも設け、見た人の反応も一緒に見えるようにしました。

場 所 ギャラリースペース

参加数 165 名



<鏡もちプロジェクト>

日 時 2015 年 12 月 12 日（土）、13 日（日）、19 日（土）、20 日（日） 13：00～16：00
内 容 TARO 賞作家の豊福亮さんと一緒にいらなくなったものを使って、年の瀬にふさわしい大きな鏡もちをみんなで作りしました。最終日に金色に塗装したあと、母の塔の下に 2016 年 1 月 11 日まで飾りました。
場 所 母の塔前広場
講 師 豊福亮（現代美術作家）
料 金 無料
参加数 312 人



<キッズ TARO ギャラリートーク>

日 時 2016 年 1 月 11 日（月祝） 13：30～14：30
内 容 キッズ TARO 展に応募してくれた中から希望してくれた 11 人の子どもたちが、自分の絵についてお話してくれました。どんなことを思い浮かべたのかや、どんなところが気に入っているかなど、それぞれのストーリーを聞かせてくれました。
場 所 ギャラリースペース
料 金 無料
参加数 60 名



<TARO 賞新聞をつくろう！>

日 時 2016 年 2 月 21 日（日） 13：00～16：00
内 容 今年で 19 回目を迎える岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）。みんなでその展覧会を見てから、TARO 賞の魅力を伝える新聞をつくるワークショップを行いました。気になった作品の写真を撮ったり、作家のギャラリートークをきいて、質問をしてみたりして、それぞれの TARO 賞新聞が出来上がりました。つくった新聞は、ギャラリースペースに飾りました。
場 所 企画展示室、創作アトリエ
料 金 無料（高校生以上は要観覧料）
参加数 4 名



<TARO パースデーイベント 1 バックヤードツアー>

日 時 2016 年 2 月 27 日（土） 14：00～15：30
内 容 岡本太郎の誕生日である 2 月 26 日を記念して、普段は見ることのできないバックヤードを見学するツアーを行いました。作品の搬入口や職員の事務室などをめぐり、普段の美術館の仕事についてもお話をしました。そのあとで常設展示室に移動し、学芸員の解説つきで展示を見ました。
場 所 常設展示室、バックヤード
対 象 高校生以上
料 金 無料（要観覧料）
参加数 18 名



<TARO バースデーイベント 2 ジャワ・ガムラン演奏&パフォーマンス>

日 時 2016 年 2 月 28 日 (日) ①13:00~14:00 ②14:30~15:30

内 容 岡本太郎の誕生日である 2 月 26 日を記念して、岡本太郎も学んでいたというインドネシアの文化から、ジャワ島に伝わるガムラン演奏と踊りを開催いたしました。インドネシア特有の楽器の音色と踊りを多くの方に楽しんでいただきました。

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

出 演 カルティカ&クスモ、中田一子 (ガムラン・ゴング)

参加数 ①136 名 ②148 名



■団体利用実績■

学校や教育機関による団体での鑑賞学習や、美術館を利用したグループ学習については、利用する教育機関側と美術館職員が事前に打ち合わせを行い、対象年齢や学習目的に応じた鑑賞プログラムを作成しています。

平成 27 年度 団体利用数

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	64	0	0	1	8	0	0	2	48	4	120
5	2	179	1	178	2	38	3	111	6	195	14	701
6	10	1245	3	386	5	78	1	47	6	158	25	1914
7	4	502	7	268	1	68	0	0	6	218	18	1056
8	0	0	2	36	1	9	3	76	8	444	14	565
9	17	1924	1	9	0	0	0	0	4	131	22	2064
10	18	1729	3	227	2	71	1	26	8	501	32	2554
11	17	2120	2	163	1	5	0	0	3	93	23	2381
12	15	1724	0	0	1	25	0	0	1	19	17	1768
1	7	695	2	40	0	0	0	0	3	60	12	795
2	6	550	0	0	1	27	1	10	0	0	8	587
3	1	30	2	10	0	0	1	32	4	97	8	169
計	91	10762	23	1317	15	329	10	317	51	1946	197	14,656

■学校プログラム■

<職業体験プログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各 1 時間程度体験します。



今年度受入校数 15 校

<出張授業>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。



今年度受入校数 22 校

■教材開発と利用■

<映像資料>

「岡本太郎の芸術」

時間：20 分

内容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説
*ドロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



「マナーDVD」

内容：小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたもの。



<作品プリント>

「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

【フレーム入り 20 作品 42.5×30.5】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写真：《縄文土器》他 全 2 作品

*個々の作品についての解説書付き

「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品



<作品カード (アートカード) >

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 7 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 10 作品

版画：《眼》《夢》全 2 作品レリーフ：《マスク》全 2 作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全 3 作品



【パウチ加工 24 作品 12.0×18.0】

<大型作品プリント>

内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全 5 作品



<岡本太郎美術館スタンプラリー>

期 間 2004 年 3 月 13 日より開始

認定者数 384 名 (2016 年 3 月 31 日現在)

内 容 川崎市内や都内近郊にある岡本太郎作品を所蔵する施設の作品や情報を掲載。各施設のスタンプを

すべて集めることにより、美術館からスタンプラリー認定証と、川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎記念館の招待券（各 2 枚）を贈呈。（平成 19 年度よりスタンプ設置箇所を変更）

< 作品・スタンプの設置場所 >

- 川崎市岡本太郎美術館
- 岡本太郎記念館
- とどろきアリーナ
- 川崎市市民ミュージアム
- 大山街道ふるさと館（スタンプのみ設置）

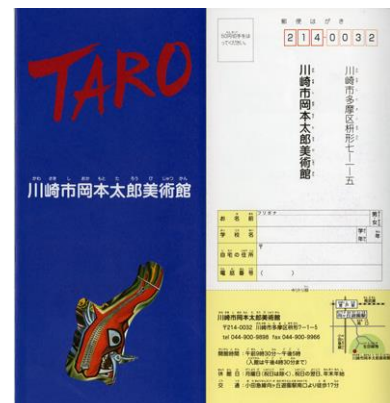
< 作品のみ設置場所 >

- 二子神社境内 岡本かの子文学碑
- ミュージア川崎シンフォニーホール
- 入江崎スラッジセンター
- 川崎市役所第三庁舎 1 階ロビー
- 川崎市多摩区役所
- 高津市民館
- 川崎市立藤崎小学校
- 神奈川県立向の岡工業高校



< 子ども向けパンフレット >

岡本太郎の作品を年代順に紹介し、両親である岡本一平・かの子について、川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載した小・中学生向けのパンフレット。裏面は切り取って使用できるはがきになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることができます。（届いたはがきは、館内のギャラリースペースで閲覧可能）



■美術館教育研究会■

- 日 時 2016 年 2 月 9 日 (火) 15:00～16:30
- 場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ
- 議 題 (1) 27 年度の普及事業報告
学校対応事業
学校・地域連携事業
イベント・ワークショップ事業
- (2) 28 年度の教育普及事業について予定
学校利用 (団体利用、教材貸出)
学校・地域連携事業
イベント・ワークショップ事業
- (3) 28 年度の事業取り組みについて
岡本太郎美術館の独自性を持つ新しい鑑賞方法の試行
・美術館教育研究会をもとに鑑賞方法を開発していく
・先生方に鑑賞教育に対する意識向上を図る
光る岡本太郎の学校における活用
・27 年度開催した「光る岡本太郎」を学校等美術館以外の場で展開していきたい
専修大学との授業連携について
- 出席者 小・中学校：岩崎知美 (総合教育センター)、登尾日出男 (京町中学校)、宮川友二郎 (小田小学校)、小林隆 (専修大学ネットワーク情報学部)、太田景子 (菅中学校)、北潟美波 (枳形中学校)、佐野美央 (麻生小学校)、中居雅子 (宿河原小学校)、前田茉莉江 (稲田中学校)、宮川裕子 (西菅小学校)
- 美術館：高田智幸 (副館長)、大杉浩司 (普及企画係課長補佐)、西泉壮一 (管理担当係長)、山崎千加子 (普及企画係主任)、橋本文恵、野崎美樹、高野英江 (普及企画係非常勤職員)